

## 代表質問

## 将来を見据えた希望あふれる「まちづくり」のビジョンを



公明党議員団  
大野 哲也 議員

住民福祉向上のために、  
これからも政治家としての判断を

**問** 市長は、就任から1年を振り返る新聞報道の中で、市長になって考え方が変わったと言われたが、どのように変化したのか。

**答** 住民福祉の向上という観点は変わらないが、法令や制度の枠内での思考から、必要があれば枠組みを超えても、その実現を模索すべきとの観点に立つようになった。

直接対話を継続し、  
安全安心なまちづくりを

**問** 出前市長室を開催しての成果と課題を聞きたい。

**答** 市民と直接対話する機会を持てたことや多くの方と熱のこもった意見交換ができたことが成果と考えている。

また、参加者からいただいた御意見や御提案などを課題と捉えて、今後の行政運営に生かしながら取り組んでいきたい。

全職員が協力し、連携して取り  
組むシティプロモーション活動を

**問** 各課の広報担当者の役割

を聞きたい。

**答** 広報担当者は、課の広報関係を取りまとめる者で、広報の進め方、やり方を主に受け持っている。今後は、シティプロモ

ーションを全職員が行っていく必要があり、各個人にも認識を再度呼び起こしたい。

**再発言** 広報担当者というイメージになりがちなので、今後は名前をシティプロモーション推進委員に変更するなどして、広報だけでなく情報発信全体を推進していく各課の担当者という意識づけも大事だと思う。



大牟田市本庁舎

将来を見据えて計画的な  
まちづくりのビジョンを示せ

**問** 本市では今後大きな予算を伴う事業として、総合体育館の建設、市庁舎の耐震、ごみ処理施設、学校再編、中心市街地環境整備、新栄町駅前地区市街地再開発事業などがある。さらには、インフラの老朽化や社会保障費の増大も

予測され、深刻な財源不足が発生する可能性があるが、今後の財政の見通しについて聞きたい。

**答** 今後も財政状況は非常に厳しい状況が続くのではないかと考えている。

コンパクトなまちづくり  
実現への取り組みを

**問** 都市の姿をコンパクトな方向へというのが課題だが、そのための考え方について聞きたい。

**答** 医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えで進めていくことが必要と考えている。

高齢者の運転事故に  
対する対策を急げ

**問** 高齢者が運転する車による事故が増加している。このことに対する認識を聞きたい。

**答** 高齢化率が高い本市における高齢者の運転事故防止は重要な課題と認識している。

**再発言** 家族等関係者も悩んでいるので、運転免許証の自主返納の支援として、まずは料金助成のような大きな予算がかからない講演会の企画や相談窓口の設置など、アドバイスをする体制づくりを前向きに検討してほしい。